学校番号	308

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	生物基礎（数研出版）						
副教材等	新課程　生物基礎　学習ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物学は非常に応用範囲の広い学問です。例えば、環境・農業・食糧・健康・医療など、社会や自身の生活に直結する分野の基礎となります。小学校・中学校の理科や他教科で習った知識を生かして、「細胞」、「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」といった観点から発展的に生命を学ぶことは、自分自身や地球全体を理解することにつながり、持続可能な社会を形成するための礎になります。地球という船の乗組員としてのヒト、そして自分を見つめなおすきっかけにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
各単元の基礎的な専門用語を意味とともに理解ができている。

【思考力、判断力、表現力等】
学び得た知識を用いて、生物現象を理論的に考察し、適する専門用語を用いて基礎的な説明ができる。
表やグラフから論理的に考察することができる。

【学びに向かう力、人間性等】
授業で学んだことを自ら復習し、次の授業につなげるよう主体的な学習ができる。
実験に対して自ら疑問を持って取り組み、得られた結果から自分なりの論理的な考察ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各単元の重要語句や原理、化学反応式等を理解し、知識として定着している。	細胞内や生体内で起きている現象や、生態系における生物間の関わり合いについて思考し、適切に判断を行い、表現できる。	生命を分子、細胞、個体、生態系など様々な階層レベルで関心を持ち、科学的な視点から探求する意欲・態度を身につけている。また、実験・観察といった探究活動において、実験器具を正しく扱い、得られた結果から科学的な視点で考察できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期前半	生物の特徴	生物の共通性 生命活動とエネルギー	a：細胞の基本構造ならびに代謝での各反応を理解する。 b：細胞内で起こる反応が互いに関係しあい、生命を維持する一連のものと考察できる。 c：生物の多様性と共通性について関心を持ち、日頃から主体的に知識の蓄積が行える。顕微鏡を用いた探究活動にて、正しい手法で観察する技能を持つ。	定期考査 授業ノート	定期考査 ワーク	探究活動 小テスト (全試行回数のうち、高いものから 1/2 の点数を採用し、主体的な学習意欲をみる)
1学期後半	遺伝子とそのはたらき	生物と遺伝子 遺伝子の均等配分 タンパク質の設計図	a：DNA の構造や性質、体細胞分裂の過程を理解する。 b：遺伝子の発現（転写→翻訳）過程を理解し、遺伝暗号を解読できる。近年のゲノム研究の進歩が、人類の生活にどのような影響を及ぼしているかを考察できる。 c：多細胞生物において、様々な種類の細胞が同じゲノムでできていることに関心を持ち、日頃から主体的に知識の蓄積が行える。	定期考査 授業ノート	定期考査 ワーク	探究活動 小テスト (全試行回数のうち、高いものから 1/2 の点数を採用し、主体的な学習意欲をみる)
2学期前半 2学期後半	生物の体内環境の維持	体内環境の維持 体内環境を保つしくみ 体内環境を守るしくみ	a：恒常性に関わる神経系、ホルモン、免疫系の細胞・タンパク質の知識をもつ。 b：神経系とホルモンによる恒常性の協同調節を整理して、考察できる。 c：生物が恒常性を維持する意義や仕組みに関心を持ち、日頃から主体的に知識の蓄積が行える。	定期考査 授業ノート	定期考査 ワーク	探究活動 小テスト (全試行回数のうち、高いものから 1/2 の点数を採用し、主体的な学習意欲をみる)
2学期後半	生物の	植生の多様性	a：植生を指標とするバイオームの各々の特徴を理解する。 b：物質の循環や生態系のバラン	定期考査 授業ノート	定期考査 ワーク	探究活動 小テスト (全試行回数

3学期	多様性と生態系	気候とバイオーム 生態系とその保全	スに関する知識を基に、現在人類が環境に及ぼしている影響や生態系保全に関する試みや意義を考察できる。 c: 教科書に書かれている生態系から身近に存在する生態系まで幅広く関心を持ち、日頃から主体的に知識の蓄積が行える。			のうち、高いものから 1/2 の点数を採用し、主体的な学習意欲をみる)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度